

佐倉市議会だより



2023年11月1日
(令和5年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97 番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市議会ホームページ <http://sakurashigikai.gijiroku.com> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



8月定例会

令和4年度歳入歳出決算・令和5年度補正予算など 26議案を認定・可決・同意

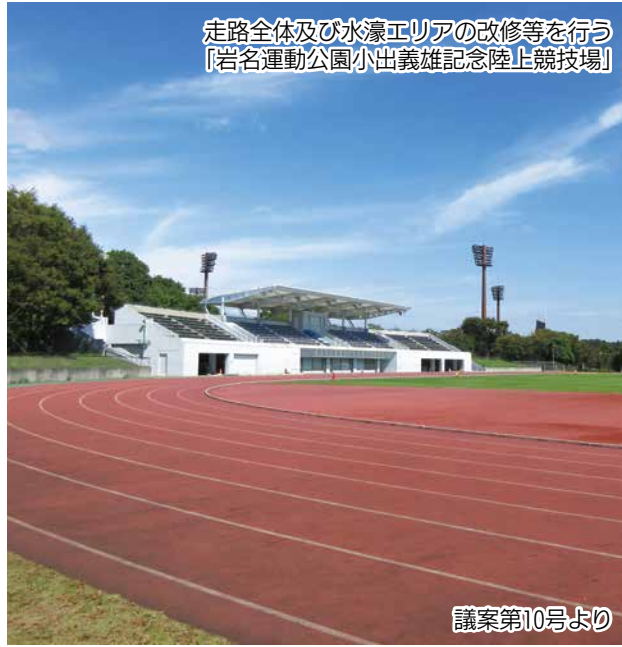
佐倉市議会は、8月28日から9月26日までの30日間にわたり、令和5年8月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」や「令和5年度佐倉市一般会計補正予算」など議案24件、諮問2件が提出され審議しました。

陳情については、「佐倉市立幼稚園の閉園方針に関する陳情」、議員提出議案については、「佐倉市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について」など8件が提出され審議しました。

このほか、6月定例会から継続審査となっていた懲罰動議についても、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に10人が登壇し、市政に対する質問を行いました。



走路全体及び水濺エリアの改修等を行う
『岩名運動公園小出義雄記念陸上競技場』

議案第10号より



市内避難所に配備する
気化熱冷風機

議案第17号より

決算審査特別委員会を設置

令和4年度の各会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置し、9月19日から22日までの4日間にわたり、担当部課長などから説明を受け、慎重に審査を行いました。定例会最終日には、櫻井道明委員長から審査結果報告があり、次の5点について要望しました。

決算審査特別委員会での要望

- 1 印旛沼等の水質浄化、治水対策や渋滞緩和策としての道路整備などの広域的な行政課題については、その解決に向け、国・県に対し、しっかりと要望していただきたい。
- 2 健康寿命の延伸は、地域活力の強化はもとより、今後増大が予想される医療費等の抑制にもつながるものと認識している。引き続き、疾病予防と介護予防を一体的に実施する事業やスポーツ啓発などを推進し、その実現に努めていただきたい。
- 3 昨年度策定した方針に基づき、DXの推進に取り組んでいるものと理解している。国が目指す未来社会 Society5.0^{*}の実現に向け、ウェブアクセシビリティのさらなる向上やICT教育の推進など、今後も急速に発展するテクノロジーについて調査研究を行い、誰一人取り残すことのない、よりよい市民サービスにつなげていただきたい。

- 4 気候変動による影響は、生活環境や自然生態系など多岐にわたり、グリーンインフラを活用した浸水対策や環境保全施策など、地域の実情に応じた関連施策を庁内一体となって計画的に取り組むことが重要である。気候変動の影響を回避、軽減し、市民が安心して暮らすことができるまちを実現していただきたい。
- 5 高齢者・障害者・生活困窮者・子育てといった各制度、分野を超えて横断的な取り組みを進め、つながり、支え合える地域づくりを行うことは、全ての人々が理解し合い、暮らしていく「地域共生社会」の実現につながるものであることから、着実に進めていただきたい。



決算審査特別委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

木崎俊行、長谷川泰弘、押木孝和、密本成章、敷根文裕、高橋とみお、宇田みおこ、望月庄子、◎櫻井道明、○山本英司、徳永由美子、松島梢

令和4年度 会計別決算の状況

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
① 一般会計	597億2,897万1,271円	568億7,615万2,433円	28億5,281万8,838円
② 国民健康保険	176億1,148万7,008円	176億119万4,331円	1,029万2,677円
③ 公共用地取得事業	85万7,020円	85万7,020円	0円
④ 農業集落排水事業	1,819万2,300円	1,819万2,300円	0円
⑤ 介護保険	140億1,134万6,548円	137億6,064万9,433円	2億5,069万7,115円
⑥ 災害共済事業	527万7,771円	112万1,163円	415万6,608円
⑦ 後期高齢者医療	29億8,023万7,609円	29億7,531万8,390円	491万9,219円
会計名	事業収益決算額	事業費用決算額	純利益
⑧ 水道事業	38億8,556万449円	37億3,924万5,084円	1億4,631万5,365円
⑨ 下水道事業	38億755万9,299円	32億9,308万7,674円	5億1,447万1,625円

郵便・メール・FAXでのご意見、ご感想をお待ちしております。



※【Society 5.0(ソサエティ 5.0)】サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)

市政に関する

一般質問

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。()内は会派名

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 櫻井道明, 齋藤寛之) and their respective questions (e.g., ①市長の政治姿勢, ②結婚・子育て支援).

個人質問

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 望月庄子, 石井秀明) and their respective questions (e.g., ①職員及び教職員の働き方改革について).

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

8月定例会では、9月4日から9月7日までの4日間にわたり一般質問を行いました。

市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

代表質問

Header for Representative Questions featuring 桜井道明 (Sakurai Michiaki) with a QR code and photo.

気候変動への対応
問 将来予測される気候変動の影響による被害を回避、削減するための気候変動適応対策を進めていくことが重要である。近年の気温上昇や大雨、台風被害の状況に鑑み、地域気候変動適応センターの設置を早急に検討すべきと考えるが、取り組み状況と今後の予定を伺う。
答 気候変動適応対策を急務と捉え、センターの設置、さらには地域気候変動適応計画の策定を目指し、事務を進めている。本年10月、企画政策課内に気候変動対策準備室を立ち上げ、現在策定中の中期基本計画と整合した行動計画を整理するとともに、次年度から実効性の高い取り組みを遅滞なく進めていく。
問 近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用した「田んぼダム」の取り組みは、水田の多い佐倉では有効な防災対策の一つである。農村地域に協力を要請し、さらに広めていく必要があると考えるが、いかがか。
答 飯田環境保全会が市内で初の「田んぼダム」に取り組み、

Header for Representative Questions featuring 齋藤寛之 (Saito Hiroki) with a QR code and photo.

市長の政治姿勢について
問 大学と専門学校を誘致することで、産業経済の活性化とまちのにぎわいが創出されると考えるが、見解を伺う。
答 市内で多くの若者が活動することで、まちのにぎわいが創出され、地域経済の活性化につながるものと捉えている。また、進学や就職による転出抑制を図るための対策についても、多面的に検討していきたい。
問 2028年度末に供用開始予定の成田空港の機能強化は、本市にとっても大きなチャンスである。定住人口の獲得について、この機会をどう捉えているか。
答 本市としても好機と捉えており、外国人の観光需要への対応、輸出関連企業の市内誘致、さらには、大幅増が見込まれる空港内従業員の転入策など、様々な施策を進め、移住定住につなげていきたい。
問 各避難所と自主防災組織との連携について、どのような支援体制を行っているのか伺う。
答 自主防災組織、地元自治会、避難所配備職員や学校施設管理者等で構成する委員により、避難所の様々なルールづくりや、避難所の開設、運営などを行う避難所運営委員会の設立支援に取り組んでいる。
令和3年7月には、千代田小学校避難所運営計画委員会が設立され、今後は、当委員会をモデルケースとして、各自治会や自主防災組織とも協議を進め、地域の特性を生かした避難所運

営委員会の設立を積極的に促していきたい。

行政のデジタル化について

問 市内全体の道路状況を把握し、事故や破損が起きないように対応するには、現状の点検方法では限界があると考えますが、見解を伺う。

答 6月30日から千葉県内限定で試行的運用を開始した「国土

交通省LINE通報アプリ」の周知を図り、市民の皆様などに利用していただくことで、穴ぼこなどの早期発見、早期対応につながるものと期待している。

問 本市HPも、わかりやすく、検索しやすくなるよう改善を図りながら、市公式LINEの登録数も積極的に増やしていただきたい。

問 コロナワクチン接種が生後6か月以上の全ての市民を対象に開始されるが、子どもへの接種は慎重にすべき。予診票の送付時に副反応を知らせる文書を送る等の対応が重要。どうか。

答 説明書の同封やHPに掲載。次期介護保険料の値上げ回避を

問 次期介護保険計画のアンケート調査で保険料負担の軽減を求めるものが多かった。介護基金は26億3千万円と前年と同額まで積みあがり、その要因として今期の保険料値上げの影響と考える。次期は回避すべき。

答 計画策定の中で検討する。

公明党 おしき たかより
押木 孝和



がん患者のQOL[※]について

問 公明党は以前より、がん患者の社会参加の促進やQOLの向上を図るために、ヘアウィッグや補整具への支援について質問・要望してきた。がん患者への支援について市の考えを伺う。

答 県の補助事業を活用し、新たに、がん患者への支援事業を開始したいと考えている。

問 今定例会において、ヘアウィッグ等の助成事業を開始する補正予算が計上されたが、今後開始する事業について伺う。

答 医療用ウィッグや胸部補整具の購入等に係る経費の助成を行う「がん患者アピアランスケア支援事業」及び、訪問介護等に係る費用を一部助成する「若年がん患者在宅療養支援事業」を新たに開始する。

骨髄移植を受けた方へのワクチン再接種費用の助成について

問 骨髄移植などの造血幹細胞移植の治療を受けると、既に受けたワクチンの免疫が減衰し、再接種が必要となる。現在、再接種費用を助成してほしいとの声が広がっているが、佐倉市の現状と今後の考えを伺う。

答 現在助成は実施していないが、再接種が必要と医師が認めた場合、再接種費用を助成予定。

佐倉里山自然公園整備について

問 国土交通省「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として、本市が選定された。そのメリットや今後のスケジュールを伺う。

答 全国の先導事例となるべく、厳選されたコンサルタントや専門家の派遣が無料で受けられる。今年度末までに、グリーンインフラをはじめ、具体的活用方をまとめ、推進するための協議会の設立を目指している。また、公園施設の整備にも継続して取り組んでいく。

クルベジと里山整備について

問 クルベジとは、サイクルアンドクルベジタブルの略称。本市は、ゼロカーボンシティ宣言やオーガニックビレッジ宣言もしており、クルベジ活動は、市の事業活動としても大いに役立つと思うが、市の見解を伺う。

答 地元野菜の生産拡大や地球温暖化の緩和策として有効の上、地域の自然等の理解にもつながる意義ある活動と認識している。

無会派の会 うだ
宇田 みおこ



自治体運営の基本原則順守を

問 二代表制をとる地方自治では本来発生しにくい与野党関係が、当議会において生じているのではないかと疑念に思うことが多々ある。市長の見解は。

答 市長の見解を申し上げることは差し控えるべきと考える。

問 前議会の市長提出議案で十分な説明資料が提出されなかったことは、議員の仕事を妨害したことになるのではないかと。

答 各常任委員会委員長等にも相談しつつ、できる限りの資料提供に努めている。

問 市立幼稚園廃園条例案は住民自治の観点から政策決定プロセスに問題があるかと考える。一般論として、当市の政策決定プロセスは妥当と考えるか。

答 適切かつ、妥当と考える。

近隣市と比較し佐倉市で加速する人口減少への少子化対策

問 令和4年中人口動態は、当市772人減に対し成田市626人、八千代市1,363人、四街道市375人、印西市2,320人増。結婚支援に、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用したAIマッチングシステムが有効では。

答 定住化及び地域活性化に資するよう調査研究を進めたい。

問 高等教育卒業後市内に居住、当市で就職をする方向け返済不要奨学金制度や若者層への税の優遇措置等も効果的では。

答 結婚新生活支援事業充実が今後も重要。こども家庭庁の動向を注視しつつ、効果的な政策立案に向け検討を進めたい。

問 地域の空き家を市が借り受け公的住宅として安価に提供するなど、若者向け定住促進住宅の整備についての見解を伺う。

答 現状では市による住宅の直接提供までは考えていない。

市民ネットワーク いがらし ともみ
五十嵐 智美



平和施策と市長公約

問 公約に「人権尊重・平和条例の思いを次代に継承」を掲げているが、数十年続く核兵器廃絶を訴える平和行進の後援を今年取りやめた。このような平和のための市民活動は重要であり、今後も後援の継続を求める。

答 後援等要綱の「宗教的又は政治的な目的を有し、市の中立性を損なうおそれ」に該当。

問 核兵器廃絶のための平和行進は市民に認知されており、団体と協議し、後援をしてほしい。総合計画の中期基本計画策定

問 あらゆる調査で歩道が狭い、道路状態が悪いと道路問題が上位。高校生ワークショップでは土木費拡充が課題に。大型道路新設ではなく、生活道路や通学路整備を優先的に取り組むべき。

5類移行後のコロナ対策

問 今年5月に5類となり、一人住まいや高齢者等の症状が重い感染者に対し、市として支援体制が必要。対応はどうか。

答 引き続き電話相談や、状況により医療機関の紹介を行う。

日本共産党 きざき としゆき
木崎 俊行



平和条例に基づく市長発信。大国アメリカに堂々物申す。しかし市民の平和運動の原水爆禁止国民平和行進を後援不承諾。

問 「このような核実験を行うことは（中略）貴国への信頼を大きく失墜させるものです。貴国におかれましては、誠実に核軍縮に取り組み、今後一切の核実験の計画を中止するとともに核兵器のない世界の実現に向けた主導的役割を果たされるよう強く求めます」この市長の発信は素晴らしいものだ。大人も平和に対して誠実に頑張っている。この誠意、真心を平和使節団学生たちに紹介しているのか。

答 個別説明は行っていない。

問 原水爆禁止国民平和行進に市は後援不承諾へ。核兵器禁止条約に関する情勢は「政治的」で、軍事費等のための増税に向かう不安は当然。不承諾理由は。

答 現政権を批判する文言等があり、市の中立性を損なう恐れのあるものと判断した。

猛暑、生活保護に夏季加算を

問 生保の冬季加算の理由は。

答 光熱費の増加需要に対応。

問 ならば今やエアコンは命を守る必需品。電気代高騰で負担は増。最低生活費の中、耐用年数超過でエアコン故障ならば市職員はどのように助言するか。

答 設置費確保や貸付制度など、各家庭に合わせて案内するとともに計画的な生活費支出の支援等、不安が軽減するよう努めている。

問 相手が社協でも生保世帯の「借金」だ。夏季加算、エアコン代を国へ要望しているのか。

答 支給対象へと国に要望中。

タクシー利用補助券制度創設を

問 駅、バス停が近くても疾病等でタクシーが要る場合もある。

答 様々な手法を検討する。



★議員名の



は各議員の録画映像へリンクしています。ぜひご活用ください。

個人質問

もちつき あつこ
望月 庄子 さくら会

職員及び教職員の働き方改革について

問 世界が激変し、働き方も変化し続けており、総務省は、地方公務員のデジタル人材の育成に向け、リスキングを促す方針を固めた。市の見解を伺う。

答 世界は今、AI等技術革新による産業構造の転換期で、自治体の業務についても変革期を迎えており、重要と考えている。

問 大企業に対して、育児休暇取得状況の公表が義務化されたが、教職員の育児休業と看護休暇の取得状況について伺う。

答 令和5年8月1日時点で、育児休業は33名、看護休暇は2名の教職員が取得している。

問 部活動等の負担で富山県中

学教諭が過労死し、裁判所が市と県に賠償を命じた。教職員の時間外勤務の状況を伺う。

答 昨年度3回調査を行い、80時間以上時間外勤務をした教職員は、中学校で、6月41.5%、11月30.1%、2月17.5%だった。**新型コロナワクチンの接種について**

問 秋開始接種は、生後6か月以上の希望者全員が接種可とすることで接種しやすい環境が整えられたが、接種しない、できない人に対する差別がないよう啓発を要望する。また同時流行が懸念されるインフルエンザのワクチン接種状況についても伺う。

答 希望する方が、接種できる見込みになっている。

いしい ひであき
石井 秀明 自由民主さくら

公共施設運営について

問 3月に改定された公共施設等総合管理計画であるが、今後の公共施設の在り方について市長の考えを伺う。

答 社会構造の変化に合わせて、公共施設の機能や量を見極めることが重要であり、併せてPPP※など官民連携による手法導入の適否について検証を行い、持続可能な市政運営を目指す。

問 公共施設の運営には、市民の意見を取り入れることが不可欠だが、これまでどのような形で取り入れてきたのか伺う。

答 利用者アンケート等の内容を基に、基本構想・計画案を策定し、さらにパブリックコメントも参考に進めている。

学校教育環境について

問 不登校や引きこもりの児童生徒の個々の可能性を生かせる新しい形の教育を踏まえ、フリースクールの設置などについて市の考えを伺う。

答 現時点ではフリースクールの設置は考えていない。ルームさくらの教育環境の充実向上を目指し、進めていく。

地域問題について

問 近年デマンド交通の運営は、簡素化され導入しやすくなった。再開に向けて市の考えを伺う。

答 交通基礎調査において移動実態等を適正に把握し、民間事業者とも連携を図りながらデマンド交通の再開も含めた様々な可能性を考慮し、検討を進める。

はせがわ やすひろ
長谷川 泰弘 公明党

ぬくもりある福祉について

問 選挙の投票所入場券を視覚障害者の方に送付する際、「音声コード」を付与すべきと考えるが、佐倉市の見解を伺う。

答 導入にかかるコストからその効果に至るまで、先進自治体の実施例を参考に研究を進めている。今後、実現に向けて研究のスピードを加速させる。

安心安全のまちづくりについて

問 佐倉市の庁用車に搭載され

ているドライブレコーダーを、市内のさらなる安心安全の観点から、動く防犯カメラとして活用してはどうかと考えるが、佐倉市の見解を伺う。

答 ドライブレコーダーを装着した庁用車による「ながら見守り」については、実施に向けて佐倉警察署等と協議を進めている。情報提供にあたっては、佐倉市防犯カメラの設置及び運用に関する基準を準用することで、

個人情報の保護に努めていく。**快適な環境づくりについて**

問 市内環境美化の一環として、路上に放置された犬のフンを強調して飼い主に警告し、マナー向上を促すイエローチョーク作戦の実施について見解を伺う。

答 環境美化や清潔なまちづくりに寄与するものであり、飼い主へのマナー遵守の意識啓発にも効果が期待できるものと捉え、先行的に実施している他市の事例を調査研究し、実施に向けた検討を行っていく。

まつしま こずえ
松島 梢 市民ネットワーク

支援が必要な子どもの受け入れ

問 支援が必要な子の私立幼稚園の入園について、断られた、入園しても10日で退園を言い渡された等の悲痛な声が届いている。実態調査をすべきでは。

答 入園は、各私立幼稚園がそれぞれの権限で判断する事項であり、調査は制度上そぐわない。

学童保育所について

問 土曜日の合同保育について、平日と同じ通い慣れた学童に通いたいと保護者の声があった。遠方の学童で合同保育を行う実態もあるが、市の見解を伺う。

答 少人数で1日過ごすより、普段とは違う友達と楽しく過ごせるメリットがある。

家庭ごみの収集方法について

問 市の指定ごみ収集袋は6種類あり、近隣自治体と比較して多い。他市はカンやビン、ペットボトルはコンテナや網袋に、紙類は紙袋に入れて出せる。プラスチック製品の利用を削減する取り組みが進む中、プラ袋を何種類も購入するのは矛盾している。見直す考えはあるか。

答 路上集積所へのコンテナ設置等は困難。変更の考えはない。

市のホームページについて

問 昨年6月に新しくなったが、使いづらくなった、知りたい情報を探せない等の声が市民から上がっている。市の見解を伺う。

答 検索しにくいとの意見は把握している。改善を図り、誰もが使いやすくなるよう努める。

いとう としこ
伊藤 とし子 市民ネットワーク

香害問題への対応について

問 衣類についた香料が原因で健康被害が起きている。ポスターや広報等での啓発について。

答 毎年市作成のポスターを公共施設、小中学校等に掲示。市広報紙では香料が原因でめまいや頭痛、アレルギー症状や喘息を誘発する可能性があるため、周囲への配慮を求める記事を掲載。

問 学校での香料のついた給食白衣の個別対応について。

答 化学物質過敏症や香害対応に、7月ポスター掲示の通知を出した。白衣の対応は研修会等で改めて学校職員へ周知の予定。

生活保護問題について

問 生活保護は健康で文化的な最低限の生活を営む国民の権利

を保障するものである。扶養照会が申請をためらわせるのではと懸念するが、実施状況は。

答 令和3年度で55%。

問 「生活保護のしおり」を改正し、援助が期待できないと判断された扶養義務者への照会を行わないとあるのは評価できる。さらに暴力・虐待を受けた場合には通知をしないと入れるとより一層寄り添ったものとなるが。

答 検討して、充実に努める。**問** 福祉事務所の質の向上のため、他市ではアルコール依存症問題には支援団体や当事者から、窓口対応には同行支援を行っている弁護士等から直接話を聞く研修を行っている。市の研修は。**答** 各種研修会に参加している。

みつもと なるあき
密本 成章 さくら会

佐倉里山自然公園におけるグリーンインフラの取り組み

問 こうほう佐倉8月1日号で佐倉里山自然公園が紹介されたがグリーンインフラをどのように導入するか、取り組むか伺う。

答 同公園はグリーンインフラを推進する拠点と位置づけている。具体的にはCO²削減、風水害被害軽減、災害時防災拠点として整備を検討する。また、里山の維持管理を担う人材育成

のため、里山大学を開校する。
自然共生サイトとOECM登録
問 佐倉市みどりの基本計画の中で、生物多様性の保全に資する「自然共生サイト」、OECMの認定について言及している。「自然共生サイト」は環境省の30by30*という取り組みだが、近々における申請など、その状況について伺う。
答 令和5年4月から開始された新しい制度だが、佐倉里山自然公園の現況と、国の認定に必

要な諸条件を精査し、環境部局や関係機関、民間団体と連携の上、認定に取り組む。
生成AIチャットGPTの活用
問 国をはじめとする全国の自治体で対話型の生成AIチャットGPTを活用する動きが加速しているが市の見解を伺う。
答 本年7月、8月にかけて試験運用を行い、現在検証作業を実施中。ガイドライン策定、セキュリティ対策への対応など有効な活用方法について検討する。

みつい よしふみ
三井 義文 無党派の会

有機農業の拡大
問 安心安全な食料確保への有機農業従事者の発掘、休耕地の再開発はどうなっているか。
答 新規就農者に生産技術や販売先開拓、資材調達経費支援を実施、費用と労力が課題である。
問 産業廃棄物の家畜排泄物やゴミで農地が荒らされていると通報あり。農地保全の体制は。
答 法令違反などが疑われる際は、関係法令に基づき対処する。
危機事案対応
問 在留外国人の現状、融和を図る対応と危機管理課の考えは。
答 7月末時点で4,459人。国保対象の方は日本人同様に受診でき、市は子供の学習支援やハローワークの案内、国際交流事

業を実施。危機事案対処計画では在留外国人特定の想定はない。
教育の多様性について
問 不登校対応の現状と偏差値教育にこだわらないフリースクールをどう考えるか。
答 不登校は増加傾向にあり、ルームさくらを開設し、教育支援をしている。公立フリースクール設置は現在考えていない。
市民の健康保護
問 コロナワクチン後遺症の現状と安全性の見解は。健康被害救済制度の申請に問題等は。
答 体調不良相談は令和3年度から5年度8月までに30件。国の安全性の見解を受けて対応。救済事務は円滑に行えている。
問 リスク説明の充実を求める。

いしい のぼる
石井 昇 日本共産党

就学援助制度について
問 就学援助の認定に際して、民生委員の関与を規定した法律・条例・規則等があるか伺う。
答 就学援助の申請については、佐倉市就学援助費支給要綱に基づき行っている。
問 つまり法律・条例・規則等では決まっていないということ。教育委員会内の事務手続き上の取り決めということである。昨年度の所得のみで認定可能であれば、民生委員の関与は申請の障害と考えるが見解を伺う。
答 経済的に困窮している世帯を地域で見守るといった側面もある。引き続き民生委員等と連携を図り就学援助を進めていく。
問 同じ団地に住む役所の人に

家庭の事情を話さなければならぬのは、申請をためらう理由にならないか。民生委員の関与をなくすことを強く要望する。
校旗の購入について
問 校旗は戦中、軍国主義の一翼を担っていた。学校に必置の物ではないが、必要性を伺う。
答 学校のシンボリックな役割を果たしていると認識している。
問 戦中の軍旗の様式をそのまま模した校旗を使っているが、校旗の在り方も変わるべきだと思う。校旗は高額だが、学校からの買い替え要望及び、教育委員会による買い替えの計画はあるか。
答 現時点において、要望や計画はない。

いなだ としあき
稲田 敏昭 公開と改革

街路樹について
問 大木化し、枝が道路上にはみ出し、道路標識が見えなくなったり、高さがあるバス、トラック、宅配便などは枝を避けオーバーラン走行をしていたりする。また、根上がりや伸びた草で散歩やジョギングに支障を来している。除草作業、枝剪定は年何回やっているか。
答 交通量の多い幹線道路の除草作業は年2回実施。通行支障となる箇所も随時実施。街路樹の剪定はおおむね5年間隔で実施。街灯や標識、信号などに影響があり、道路の安全性に支障を来す場合は実施。
問 生活道路の維持管理、即対応にはマンパワーが必要である。

職員の増員を要望する。
一人暮らし高齢者支援について
問 平成27年、令和2年の高齢者人口、一人暮らしの高齢者人口、対高齢者人口割合を伺う。
答 国勢調査における佐倉市の65歳以上の人口は、平成27年4万9,464人。一人暮らし高齢者は6,529人で対高齢者人口割合は約13.2%。令和2年5万5,268人、一人暮らし高齢者は8,046人で対高齢者人口割合は約14.6%。一人暮らしの高齢者人口・割合とも増加している。
問 民生委員・児童委員の方はあくまでも行政を支えるボランティアである。提供するサービスも地域間に格差がある。行政として仕組みの検討を。

みたに ひでつぐ
三谷 英継

城下町周遊地区循環バス「さくらぐるっと号」の運行社会実験
問 運行社会実験の検証、来年度以降の運行ルート、便数等の検討スケジュールは。
答 今年度末までに利用者の傾向や収支状況を検証する。
問 佐倉地区東部エリアで生活する市民の方、観光客の移動手段として考慮していただきたい。
印旛沼周辺施設の活用について
問 観光Wコア構想における各施設の連携状況、今後の計画は。
答 印旛沼周辺施設とのネットワーク化を図り、現在、鋭意取り組んでいる。
問 各施設とふるさと広場が直接行き来できない現状に課題。コミュニティバス路線の改善を。


観光Wコア構想の課題について
問 担当部署を越えて、市一丸となった取り組みが必要。各部署にしっかりと横軸を通して連携するために西田市長のリーダーシップが重要。市長の見解は。
答 熊谷知事と京成電鉄が5月に、一歩進んだ協定書を結んだというのが大きな前進。
学校図書館図書整備等5か年計画における新聞配備について
問 小学校では1校当たり2紙、中学校では1校当たり3紙の配備を図るとされているが、本市における現状、今後の計画は。
答 現在、小学校は小学生新聞を1紙、中学校は一般紙1紙を配備。今後、学校の要望等を踏まえ、適切な新聞配備に努める。

一般質問の詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(11月中旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(11月中旬配信予定)からご覧いただけます。

お子さま連れ議会傍聴へ!

【対象児】 生後6か月以上で就学前のお子さま
【利用可能日】 本会議の一般質問のみ(傍聴者おひとりにつき1日2時間まで)
【利用料】 無料
【申込期限】 各定例会の招集日まで(11月定例会の場合は11月20日(月)まで)
【申込先】 佐倉市議会事務局
 ☎043-484-6254

※託児を希望される方は、上記申込先までお電話ください。お子さまをお預けいただく際の注意事項が記載された書類等を郵送させていただきます。




令和5年8月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 ○賛成 ×反対 同可決 否否決 同同意 認認定 不採採 議議長 棄棄権 除除斥

Table with columns for bill number, name, and voting results for various council members (e.g., さくら会, 自由民主 さくら, 公明党, etc.).

懲罰動議を議決 ～懲罰特別委員会の審査結果報告～

令和5年7月3日（6月定例会最終日）に提出された、高橋とみお議員、また櫻井道明議員及び村田稷史議員に対する懲罰動議を審査するため、同日付で懲罰特別委員会が設置されました。

懲罰特別委員会は、7月21日及び8月18日に開催し、慎重に審査を行いました。高橋とみお議員に対する懲罰動議については、採決の結果、強迫的な発言は地方自治法第132条に抵触するため、陳謝の懲罰を科すべきものと決しました。

8月28日（8月定例会招集日）の本会議において、懲罰特別委員長からの審査結果の報告を受け、採決を行いました。議決結果は、上記「令和5年8月定例会 議案賛否一覧」のとおりです。なお、高橋とみお議員は、陳謝の懲罰を科されることが決定しましたので、議決後、議場にて陳謝文を朗読しました。

陳謝文
私は、7月3日の会議における、議案第2号に対する修正動議の件に関する発言中、他の議員に対して不穏当な言辞を用いましたことは、議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に顧みて、まことに申し訳ありません。ここに誠意を披瀝して衷心から陳謝いたします。
令和5年8月28日
佐倉市議会議員 高橋 とみお

【懲罰特別委員会委員】◎委員長 ○副委員長
◎平野裕子、○押木孝和、稲田敏昭、宇田みおこ、石井秀明、密本成章、松島梢、木崎俊行、山本英司、高木大輔

※議会においては、議会が一度議決した案件と同一と認められる案件については、同一会期中は審議しないという一事不再議という原則があります。この原則に基づき、発議案第2号を可決したことに伴い、議案第16号は議決不要となりました。

議案に対する会派等の意見

さくら会

令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算に賛成

令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算については、歳入の根幹となる市税収入の増加等により、歳入全体が、対前年度比で増額となったこと、さらには、実質単年度収支の黒字が維持されていることなど、総じて、健全な財政運営が維持されているものと判断した。

歳出については、新型コロナウイルスワクチン接種等の感染症対策に加え、小中学校等の給食費や上下水道基本料金の減免など、国の交付金等を活用し、幅広い層に行き渡る物価高騰対策を遅滞なく執行し、市民生活に直結した課題に適切に対応し

た。また、夢咲くら館の開館や、明神橋の災害復旧工事など、必要とされる社会基盤の整備を確実に進め、バランスの取れた事業執行がなされたものと高く評価する。

なお、審査の中で、次の5点を要望した。

1点目、治水対策や道路整備等、「広域的な行政課題」は、その解決に向け、国・県に対し、着実に要望していただきたい。

2点目、地域活力の強化や医療費等の抑制にもつながる「健康寿命の延伸」を図るため、保健と介護予防を一体的に実施する事業やスポーツ啓発事業等を推進していただきたい。

3点目、国が目指す未来社会「Society 5.0」の到来に向け、ウェブアクセシビリティの

等デイサービスまでの送迎など、中学生以降も継続利用を求める声が増えている。利用会員の対象年齢の拡充を求めるとともに、提供会員を増やす努力をしながら父子家庭が利用しやすい案内を求める。

発議案第2号佐倉市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について賛成。1年ごとに運営状況や市立幼稚園の役割等について随時、保護者等を交えた本来行うべきであった検討会を実施するものであると捉え、文教福祉常任委員会で提出した我々の修正案と求めているものは変わらないと考える。教育委員会は結論ありきの拙速な判断をせず、しっかりと市民合意の形成ができるようなプロセスを大切にしていきたい。

にしわ寄せが行くことが懸念される。事業を見直し、市民の福利向上に予算を振り向けるべきである。

議案第8号・9号反対の主な理由水道料金の値上げと上下水道決算には生活保護世帯への減免制度廃止が含まれている。給水停止予告3,000件の内800件を停止していると答弁があった。実際は減免を廃止したため市は生活保護世帯の滞納状況を把握できず、逼迫しているかどうかも分からなくなっていることが問題。

県下10万人以上の市で当市議のみが受給している旅費費用弁償の廃止を。④旧統一教会での市長公務をいまだに適切と答弁する執行部の認識を疑う、他。**市立佐倉幼稚園閉園について**十分な調査のもと、市民、私立幼稚園、教育委員会が一体となった丁寧な話し合いを求める。

さらなる向上やICT教育の推進に努め、誰一人取り残すことのない、よりよい市民サービスを目指していただきたい。

4点目、「気候変動」の影響を回避、軽減するため、浸水対策や環境保全等の関連施策を庁内一体となって計画的に取り組み、市民が安心して暮らせるまちづくりに努めていただきたい。

5点目、高齢者・障害者・生活困窮者・子育て等の各制度を超えた横断的な取り組みを進め、「地域共生社会」の実現につなげていただきたい。

佐倉幼稚園を存続する条例改正

3会派で共同提案

文教福祉常任委員会の審査結果のとおり、市立幼稚園3園を閉園すべきとの考えに変わりはない。しかし、委員会での拮抗した意見等を踏まえ、先に和田、弥富の2園を廃止し、佐倉幼稚園は、1年を目途に必要な検討を加えた上で、改めて提案すべきと考えるに至り、自由民主さくら、公明党と協議し、市長提案への対案を提出した。

私たちさくら会は、今後も引き続き、子どもたちが、適切な環境で幼児教育を受けられることを第一に考えていく。

公明党

議案第1号「令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算」賛成

コロナ禍で影響を受けた家庭、事業所や農家への各種支援、物価高騰対策として、上下水道基本料金の減免、幼・保・小中学校の給食費全額補助、キャッシュレス決済のポイント還元キャンペーンなど、市民の皆様へ幅広く支援事業が行われた。長引くコロナ感染症対策としてワクチン接種事業、シニア世代のデジタル講座事業、病気の早期発見・早期治療に向け「3歳児視力スクリーニング事業」「前立腺が

ん検診事業」が開始され、健康増進が図られた。また、ペットボトルの集積所回収により、利便性向上とゼロカーボンを目指すなど、公明党の提言が事業化されたことを高く評価する。

議案第10号「令和5年度佐倉市一般会計補正予算」賛成

公明党が提案した「がん患者QOL向上事業」「産後ケア事業」「出産・子育て応援事業」などについて高く評価する。

発議案第2号「佐倉市立幼稚園設置条例の一部改正条例」賛成

「こどもまんなか社会」の実現に向け、教育上常に「こどもの利益」を第一にすること。

日本共産党

夢咲くら館の完成決算に反対

適切ではない土地に、無理やり建設し膨大な税金を費やし、地域活性化につながらない「自己完結型施設」避難経路にゆとりなく危険、今後の活用に注意。医療費10割負担の国保資格証明

書発行、水道料金値上げにつながる霞ヶ浦導水事業に反対、等。**佐倉市立幼稚園廃止に反対**

100年以上続いてきた佐倉市の幼児教育の幕を閉じる重大な決定までのプロセスが短絡的。審議期間を約1年延長の発議案に賛成。今後の議論に注視を。廃園反対の陳情第5号に賛成。

公開と改革

いわゆる公立幼稚園存廃に係る発議案第2号。さくら会、自由民主さくら、公明党が提出した「佐倉幼稚園1園の閉園延期」案(以下「3会派案」)は、賛否のあるところ。公立幼稚園がなくなるかどうかという局面では

丁寧な審議を尽くすべき。専門家や市民からなる諮問機関を立ち上げ、存廃について慎重に検討する必要がある。しかし、3会派案は最も重要な「諮問機関の立ち上げ」について言及しておらず、問題が先送りになっただけ、という見方もできる。今後の動きを注視する必要がある。

会派に属さない議員

議席1番 発議案第2号に賛成。市民を置き去りにする議論のない拙速な閉園方針の決定は理解できない。今後は、市民、保護者、有識者を含めた検討会を設置し、市立幼稚園の運営方法、状況を踏まえ、開かれた検討会にて議論を重ねることが必要と考える。

自由民主さくら

令和4年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定は以下の点を申し添え賛成。

審議会の公募委員の選出は開催を工夫して、20代30代の子育て世代の方など、多様な人材に参画していただけるよう要望。

医療的ケア児支援法の制定に伴い、佐倉市の小学校でも看護師の配置が行われるなど、少しずつ医療的ケア児への支援が進展しつつあるが、レスパイトについては不十分なため、今後の取り組みに期待する。

ファミリーサポートセンター事業の利用会員は小学校6年生まで。現在では障害のあるお子さんの家庭でも共働きの世帯は多く、特別支援学校から放課後

市民ネットワーク

議案第1号反対の主な理由

実質単年度収支24億円黒字の内訳は土地開発基金から約16億円繰り入れたため、実質収支は8億円が本質である。今後もふるさと広場拡張整備事業、9億8千万円の飯野II-31号線建設、里山自然公園土地購入、2.2kmに40億円の岩富・寺崎線延伸等と多額の税金を使う大型公共事業が目白押しで、子育てや福祉

無会派の会

議案第1号令和4年度決算反対

①職員人件費上昇のため使用料手数料が値上げに(住民票の写し、県下一高い400円)。②土地開発基金約16.4億円の取り崩しにより、単年度収支が黒字に。③使用頻度の低い議長公用車と、



※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和5年9月11日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案14	議案17
可決	可決	可決	可決

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

- ・近年の温暖化に鑑みて、小・中学校へ配置が予定されている気化熱冷風機については、避難所対策としての防災用途に限らず、児童・生徒や施設利用者への健康対策等の目的でも利用できるよう検討していただきたい。

◎敷根文裕、○徳永由美子、稲田敏昭、石井秀明、伊藤とし子、爲田浩、岡村芳樹



文教福祉常任委員会

開催日：令和5年9月12日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案13	議案15	議案16	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案20	議案21	議案22	陳情5		
可決	可決	可決	不採択		

議案9件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

- ・がん患者のQOL向上事業については、患者自身の自分らしい生活の継続を第一に考え、患者に寄り添った事業内容となるよう十分配慮願いたい。

◎高木大輔、○密本成章、石井昇、松島梢、橋岡協美、鍋田達子、斎藤明美



経済環境常任委員会

開催日：令和5年9月13日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案12
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

◎山本英司、○望月庄子、三井義文、長谷川泰弘、宇田みおこ、木崎俊行、平野裕子



建設常任委員会

開催日：令和5年9月14日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

- ・岩名運動公園小出義雄記念陸上競技場については、今後、公益財団法人日本陸上競技連盟の公認期間が切れることがないよう、同連盟と連絡を密に行うなどして検定基準の理解を深め、審査に臨んでいただきたい。

◎村田稷史、○押木孝和、三谷英継、高橋とみお、齋藤寛之、五十嵐智美、櫻井道明



「高校生との意見交換会」の参加者を募集します！

【開催目的】 高校生に市議会への関心を持ってもらい、市議会も若者の意見を聞く機会を作ること
 【日時】 令和5年12月20日(水) 13:30~15:30
 【対象】 市外の高校に通学している市内在住の高校生
 【内容】 市議会の活動報告、議場体験、議員と高校生とのディスカッション

【会場】 佐倉市役所 議会棟
 【申込期限】 令和5年11月30日(木)
 【定員】 5名程度(先着順)

※市内の高校を含めて30名弱を予定しています。

参加申込はこちらから(ちば電子申請サービス)



令和5年8月定例会 議案をPick up!

佐倉市立幼稚園について ~議案第16号・発議案第2号~

議案第16号(市長提出議案)に対し、発議案第2号(議員提出議案)が提出されました。採決の結果、発議案第2号を賛成多数で可決しました。



議案第16号(市長提出議案)	発議案第2号(議員提出議案)	可決
<ul style="list-style-type: none"> ●佐倉市立幼稚園(佐倉幼稚園・和田幼稚園・弥富幼稚園)全3園を令和6年3月31日をもって廃止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●佐倉市立幼稚園(和田幼稚園・弥富幼稚園)2園を令和6年3月31日をもって廃止する。 ●佐倉幼稚園については、令和6年4月1日から1年を目途に、運営状況等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずる。 	

がん患者アピランスケア支援事業 ~議案第10号~

事業費 2,500千円

がん治療による外見の変化を補完するために「医療用ウィッグや胸部補整具等」を購入及びレンタルをした方に費用の一部を助成するための予算を可決しました。



*対象者・対象サービス・助成額や助成回数など各事業の詳細については、こうほう佐倉、市ホームページ等をご確認ください。

若年がん患者在宅療養支援事業 ~議案第10号~

事業費 1,332千円

若年(39歳以下)末期がん患者が住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅で生活するために必要なサービスを利用するための費用の一部を助成するための予算を可決しました。



11月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 11月14日(火)
- ◆招集日 11月20日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 11月27日(月)~30日(木)
- ◆総合計画関連議案特別委員会 12月1日(金)・15日(金)
- ◆総合計画関連議案特別委員会分科会 12月4日(月)~7日(木)
- ◆常任委員会 12月11日(月)~14日(木)
- ◆最終日 12月19日(火) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎043-484-6254

- 本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像
- インターネット中継:開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信
- CATV放映:開催日翌日午後5時30分から放送【地上デジタル10ch、デジタルCATV301ch】

議会百景

開かれた市議会を実現するために、市民の皆さまに伝わりやすい紙面を目指します。若い世代の方たちにも身近に感じていただけるよう委員会等のインターネット配信、SNS等を活用した発信に取り組みます。(広報公聴委員 三谷 英継)

議会基本条例に基づき年1回は議会報告会または市民との意見交換会を開催します。今年は市内4校および在住の高校生との意見交換会を12月に予定しています。

未来を担う青年との会話が楽しみです。(広報公聴委員 石井 昇)

広報公聴委員となり5カ月がたちました。市民の皆さまが、読んで分かりやすい『議会だより』になりますよう、新人ではありますが精いっぱい頑張っています。

議会だよりを楽しみにしてください。(広報公聴委員 長谷川 泰弘)

用語解説

※【アピランスケア】がん治療(薬物療法や放射線治療)による外見の変化(頭髪の脱毛や手術による傷など)に対する患者の苦痛を和らげるためのケアの総称

*夏季(5月~10月)に開会される議会の会議中の服装については、議会運営委員会申し合わせにより、省エネ等の観点から上着・ネクタイの着用は自由としています。